

# 工学部開設 総合科目 「技術の新視点」

これまでの科学技術の進展が世の中にもたらした繁栄はすばらしく、目を見張るばかりである。しかし、近年、社会は高度かつ複雑に変化し、技術も多様な側面を持つようになってきている。そこで本講義では、これからの技術の新しい視点として次の三つのテーマを主に取り上げ、科学技術が果たすべき役割と今後の課題について考える。

まず、「地球との関わりに対する視点」では、資源・エネルギーの有限性と環境保全、材料・構造の工夫や再利用を考えた「解体工学」など、地球資源の有限性や地球環境について考える。

次に、「社会・人間との関わりに対する視点」では、高齢者、身体障害者など何らかの考慮を必要とする人々に対する技術における支援や、社会流通円滑化システム、ボランティア活動などについて考える。

さらに、「国際との関わりに対する視点」では、航空機やタンカーの事故、あるいは昨年の阪神大震災など、技術の強大化により生じる国際関係問題や、国際協力としての技術協力の重要性とその役割について考える。

以上のような視点からの、技術の総合的見直しは新しい試みであり、今年

度(平成八年度)から工学部の共通講義としてスタートしたところであるが、受講生は三七八名にもほり、出席率も毎回高く大変好評である。できるだけ余裕時間を設け、学生諸君との討論が積極的に行えるよう注意を払うつもりである。

工学部 機械設計工学講座  
中川紀壽(ながわ・のりとし)

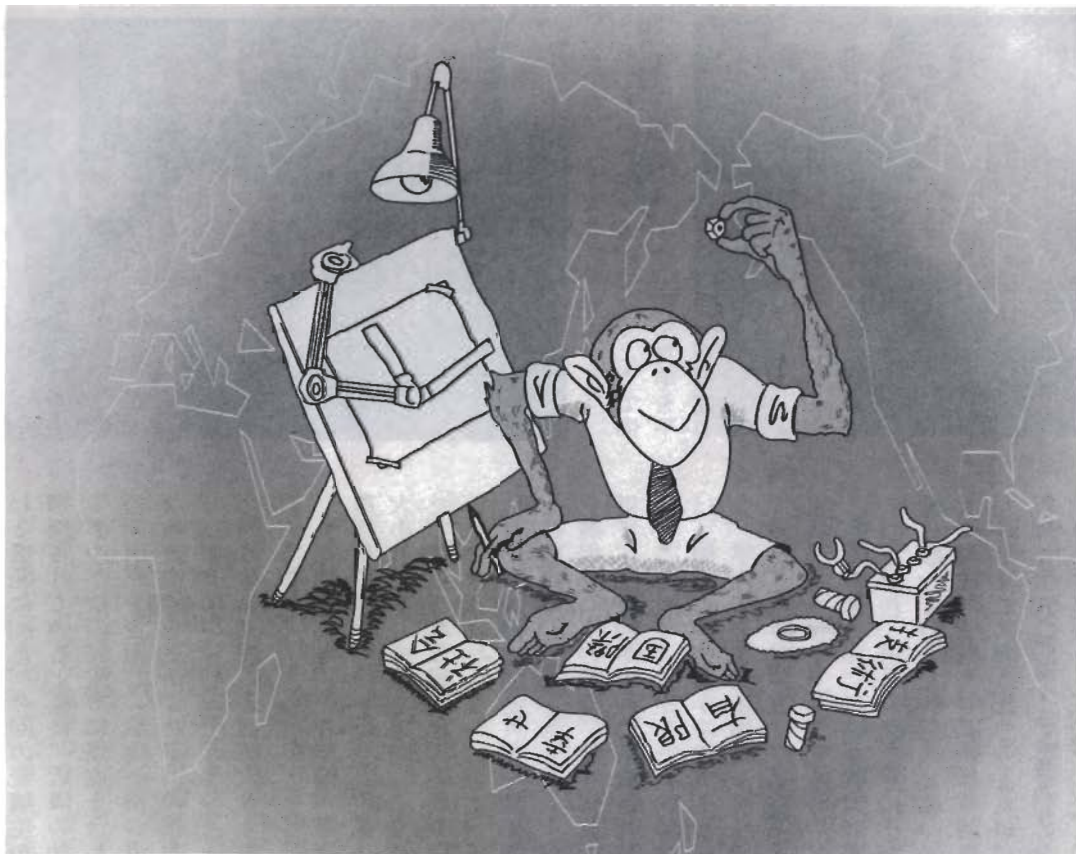


イラスト 工学部第四類 岩下英嗣(いわした・ひでつぐ)助教授